



インポート ファイルの検証

BATの [インポート ファイルの検証 (Validate Import File)] ページを使用して、インポート .tar ファイルを検証できます。この機能を使用すると、次のことを検証できます。

- .tar ファイルには、ヘッダー ファイルが含まれている。
- ヘッダー ファイルに示されているすべてのファイルが、実際に .tar ファイルに含まれている。
- .tar ファイル内のすべてのファイルがヘッダー ファイルに示されている。
- ファイル名は [インポート / エクスポート (Import/Export)] で入力したとおりで正しい。
- .tar ファイル内の CSV ファイルのファイルフォーマットは正しい。



(注)

この機能には、有効な文字、文字列の長さなどのフィールド レベルでの確認は含まれていません。

手順

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [インポート / エクスポート (Import/Export)] > [インポート ファイルの検証 (Validate Import File)] の順に選択します。

[インポート ファイルの検証 (Validate Import File)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [Tar ファイル名 (Tar File Name)] フィールドで .tar ファイル名を選択し、[送信 (Submit)] をクリックします。



(注)

[ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リストボックスに、アップロードした .tar ファイルがすべて表示されます。 .tar ファイルのアップロードについては、[第 2 章「ファイルのアップロード」](#)を参照してください。

[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。

ステップ 3 このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

ログ ファイル

1 つのインポート ファイルの検証で複数のログ ファイルが作成されます。トランザクション全体に関して 1 つ、インポートするために選択した各項目に 1 つずつ、ログ ファイルが作成されます。ログ ファイル名の先頭に項目名が追加されるため、ログの識別は容易です。

これらのファイルには、[ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] ページからアクセスできます。

検証中に問題が発生した場合は、ログ ファイルに示されます。



(注)

検証作業は、前述の項目に対してのみ行われます。

関連項目

- [設定のエクスポート \(P.60-2\)](#)
- [.tar ファイルの編集 \(P.60-6\)](#)
- [ファイルの検索 \(P.2-2\)](#)
- [ファイルのダウンロード \(P.2-4\)](#)
- [ファイルのアップロード \(P.2-5\)](#)
- [ファイルの削除 \(P.2-6\)](#)